



第19号

令和2年3月1日

発行所

福島県立二本松工業高等学校同窓会
〒964-0937

福島県二本松市榎戸1丁目58ノ2
TEL 0243-23-0960
FAX 0243-22-7388

発行者 丹治茂雄

印刷 株式会社丸井工文社

発行部数 3,000部

福島県立二本松工業高等学校 同窓会 会報

校歌

詞 草野心平
曲 小山清茂

一日輪は 天にかがやき
阿武隈は 光る動脈
ここ榎戸の 美しき地に
日毎集る われら若人
腕組まん ともに
学ばなん ともに
真善美 ひたに求めて
ああ母校 二本松
われらは愛す われらが母校

二新しく 時はめぐりて
安達太良に 白き雲沸く
ここ榎戸の 台地より見る
あの高きこそ われらが理想
肩あげん ともに
はげまなん ともに
大いなる未来 ひたに望みて
ああ母校 二本松
われらは愛す われらが母校

CONTENTS

同窓会会長挨拶／学校長挨拶	2・3
輝く松工生!!	4
新会員のことは／学校近況	5
進路状況	8
同窓会だより	9
同窓生コラムリレー	11
母校だより	12



■松工Eメールアドレス
nihonmatsu-th@fcs.ed.jp

■松工ホームページアドレス
<https://nihonmatsu-th.fcs.ed.jp>

同窓会会長挨拶



丹治 茂雄

プロフィール

昭和二十三年、現在地、二本松市竹田に生まれる。
昭和四十年、松工機械科卒業、クラブ活動は計算尺クラブ。
昭和四十五年、福島大学経済短期大学部卒業。
昭和四十六年、株式会社福島製作所へ入社、昭和六十二年退社。
昭和六十二年、日特エンジニアリング株式会社へ入社。
平成二十年三月定年退職。
趣味は、旅行・ダンス・山歩き等。
定年退職後、健康維持と地域活性化のため、趣味の社交ダンス・フォークダンス（スコテッシュ・カントリ・ダンス）の公認指導者として、ダンスの普及活動を行いながら、町内会・交通安全指導隊・松寿会等の地域ボランティア活動を行い、現在に至る。

早春の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

本校は千九百六十二年度に、二本松工業高等学校として開校し、五十八年が経過しました。今年は第五十六期生、百十九名がめでたく卒業され（卒業生総数一万一千八百五十四名）、同窓会に入会されます。これからは同窓会の仲間として、共に会員相互の親睦を図りながら、母校の発展に寄与し、郷土の開発先導に努め、広く社会に貢献していきたいと思えます。

昨年の二月八日に、県教育委員会

より発表された、県立高等学校改革

前期実施計画に於いて、二千二十三年度からは、安達東校と統合し、工業科三学級、家庭科一学級の四学級になる予定です。発表以来二回の改革懇談会が開催されましたが、反対意見等もあり、まだ検討の余地がありますが、少子化は確実に進んでいきますので、改革は必要であり、この機会をチャンスと捉え、入学希望者が増加するような、特色のある魅力的な高校（含、課外・部活）を、皆で作って行ければと思います。

本年度も後輩たちは、「資格の松

工」と、国家試験・検定試験に挑戦

し、多くの資格を取得しました。指導された先生方、資格を取得された皆さんにお祝い申し上げます。

本年度の学校行事としては、十一

月十六日（土）に、三年に一度のくろがね祭が行われ、各クラスの展示ブース、各システム科の出し物、P・TA・同窓会等の団体ブースもあり、

多くの来場者が楽しんでおりました。また一月十六日（木）には、第十一回課題研究発表会が行われ、各グループが取り組んできた課題の研究成果、問題点、反省点などが発表

され、課題研究アドバイザーの企業の方々も来校されており、今後も産学協同、多くの企業との交流が出来ればと思います。

本年度の同窓会からの激励金は、カヌー部の、第二十二回東北高等学校スプリント選手権大会（六月）、全国高等学校総合体育大会（八月）、第七十四回国民体育大会（十月）、第十回東北高等学校新人スプリント選手権大会（十月）、二十二年カヌーオセアニア選手権大会（二月）の大会出場に対し、お祝いと更なる躍進を願い、贈呈いたしました。結果、今年も優秀な成績を残されました。

同窓会は同窓生にとって大きな心のよりどころでもあります。毎年七月に同窓会総会が開催されます。同窓会員であれば誰でも参加できます。お互い声を掛け合い、ぜひご出席ください。

最後になりましたが、これから同窓会活動に皆様方の力強いご指導、ご協力をお願いし、皆様方の活躍とご健勝を願い、挨拶に代えさせていただきます。

学 校 長 挨 拶



金田 洋一郎

プロフィール

南相馬市出身 専門教科は工業（電子）。

趣味はスポーツ観戦、読書、星の観望等。郡山北工業高校、川俣高校、小高工業高校、二本松工業高校、小高工業高校（教頭）、平工業高校（教頭）、小高産業技術高校（副校長）と勤務し、平成三十一年四月に着任し、現在に至る。

同窓会の皆様には、日頃から物心両面にわたり多大な御支援と御指導をいただき、心より感謝申し上げます。

おかげさまで、本日、第五十六回の卒業式を迎えることができ、新たに百十九名の卒業生を送り出すことになりました。社会に出て何より支えとなるのは、同窓生の皆様の存在です。新社会人となる後輩達に、温かい御支援をお願いいたします。また今年度は元号が平成から令和へと

なりましたが、これまでと変わらず

同窓会より東北・全国大会出場への激励金や特別教室へのエアコン設置、また「真夏の温室」とまで揶揄された生徒指導室へのエアコン設置など、本校教育環境の維持や向上に重要な役割を果たしていただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年度発表された県立高等学校改革前期実施計画に基づき、本校と安達東高校との統合について具体的な取り組みがスタートしまし

行われており、特色ある統合高校の設立に向けて様々な話し合いが行われているところです。令和三年には、この新しい統合高校の骨子ができくと思われます。今後も、地域に根ざし、地域から愛され、地域の中心となる人材の育成に努めたいと考えておりますので、御協力と御支援をお願いいたします。

最後になりましたが、同窓会の皆様におかれましては、本校の取り組みに温かい御支援をお願いいたすとともに、会員の皆様のますますの御活躍・御健勝をお祈り申し上げ、挨拶いたします。

た。まず、両校関係者（校長・PTA会長・同窓会長）と二本松市（市長・教育長）、安達地区中学校代表校長、地元有識者三名による「県立高等学校改革懇談会」が昨年八月六日（火）に本校で、本年二月四日（火）に安達東高校で開催されました。次に両校の教職員による「教育内容検討委員会」が十一月七日（木）と一月二十二日（水）に開催されました。また、校内において検討する「ワーキンググループ」がこれまでに五回

輝く松工生!!

バドミントン部

バドミントン部は、五月の七日に行われた県北地区大会で学校対抗戦二位という成績を残し、ダブルスで二組、シングルスでは六名が県大会出場を決めました。そして同月の二十九日、六月一日にわたって行われた福島県高校総合体育大会に参加しました。

学校対抗戦の初戦は小高産業高校と戦いました。四試合をフルセットで戦う接戦の中、先に三回目の勝利をつかみ、初戦を突破しました。

そして二回戦目の会津高校との試合は相手をほぼ十五点以下におさえ、三〇で勝ち進みました。

むかえた三回戦目、相手は地区大会で惜しくも敗れた福島工業でした。粘った場面はたくさんあったものの、〇―三で敗れてしまいました。しかし去年に続き、二年連続ベスト〇という結果を残すことができました。

バドミントン部は「礼儀」「気配り」「向上心」を意識して常に感謝の心をもって練習に取り組んでいます。いくら技術が上達して試合で勝っても、普段の生活で誰にも応援されない選手

になつては意味がありません。たくさんの人に応援してもらえるように成長することが技術上達の要素ともなります。

三年生十一名を中心に試合は個人戦ですが、二本松工業という一つのチームとして目標に向かって誠意をもって部活動に取り組んだことで、結果以上に人として成長することができたと思っています。これからもチームとしての意識をもって日々の練習一つ一つに取り組んでいきたいと思っています。



カヌー部

令和最初の年、カヌー部では久しぶりにカヤック、カナディアン（カナディアン）の2部門での全国入賞を果たしました。カナディアン部門では、伊藤佑悟がインターハイにおいて、500mのシングル種目で6位に入賞、国体では、500m8位、200m6位と2種目で入賞し、高校最後のレースを有終の美で飾ることができました。国体では、豪雨と強風による悪天候により、幾度もの遅延があったにも関わらず、高い集中を保ちながら臆することなくレースに挑み、ゴール直後には、悔しくて叫ぶほどの強い気持ちで前面に表れていました。高校からカヌーを始め、ここまで成長できたことは、本人の努力は勿論のこと、家族の支えや競い合える仲間の存在、地域、学校など多くの支援があったことで成し得たもの



のだと思います。

カヤック部門では、2年生の小山田香貴が国体500m3位、200mでは、トップを快漕していました。が終盤で追いつかれ、僅か0.304秒差で惜しくも2位。優勝は逃したものの、初の国体出場で格別の緊張感の中、堂々たるレース展開ができたことは、今後につながる良い経験となりました。また、日本ジュニア選手権小松大会においては、1000mペアと200mシングルで優勝し、日本代表として、2月にオセアニア選手権大会出場、5月には、日本で開催されるアジアパシフィックスプリント大会出場が決定しています。2020年は、更なる飛躍の年となるよう、全国制覇は勿論のこと、世界で戦うための準備を万全にし、挑戦し続けていこうと思います。

カヌー部は、少人数ではありますが、個々が高い志を持って厳しいトレーニングを積んでいます。自分たちがトレーニングできるのも周りの方々の支援、協力があったることと、常に感謝を忘れず、邁進していきたいと思っています。



福島県行政書士会

行政書士秋山孝雄事務所

〒964-0936 二本松市諸越谷86番地1

TEL/FAX 0243-22-4737 e-mail: akiyama.2013@ae.auone-net.jp

書類作成のことならおまかせください

行政書士 秋山孝雄 (第6代松工同窓会会長/S39年機械科卒第1期生)

【相続関係・農地転用・各種申請書類作成】

新会員のいっば

三年三組 鈴木偵弘

この度、栄えある二本松工業高等学校の同窓会へ入会できることを心から嬉しく思います。

「自立」「協調」「実践」の下で、3年間過ごしてきた私たちはたくさんのお話を学びました。その学んだことの中でも特に重要だと思うものがあります。それは「自主性」です。一人ひとりが夢実現に向けて自分の力で日々励むこと。同じ夢を持つ仲間を鼓舞して切磋琢磨し合うこと。そして、さらなる高みを目指し頑張ること。これら全ては松工のよき伝統の一つでもあり、また、先輩方が築き上げてきた大切な歴史だと私は思います。各種大会、部活動での好成績、数多くの資格取得者、そして、就職進学率18年連続100%を達成するなど、今までの伝統、歴史がなければこのようなことを達成することはまずありませんでした。そして、そこには多くの先生方、地域の方々、そして、保護者の方々、同窓会の方々のご協力やご支援があったからだと思います。

最後になりますが、春からは同窓会の一員として、今後の二本松工業高等学校をよりよいものにするために、私達も担ってまいりますので未熟者ではありますが、皆様方の温かいご指導ご助言をよろしくおねがいいたします。

過去5年間の資格検定試験年間取得数の推移

令和2年1月29日現在

学校
近況

資格名	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ガス溶接技能講習		69	76	41	39	37
ボイラー取扱技能講習		80	64	77	41	38
電気工事士	第1種	9	8	16	7	2
	第2種	27	14	17	21	10
危険物取扱者	乙1類	1	1	1		3
	乙2類	0	2	1		2
	乙3類	0	1	1		
	乙4類	9	4	9	2	4
	乙5類	0	0	1		
	乙6類	2	1	1		1
	丙種	3	0	0		
消防設備士	乙4類	1	2			
土木施工技術者	2級	5	2	8	10	23
車両系建設機械運転技能者	小型車両	45	23	16	29	6
	小型クレーン	34	28	6	25	8
	フォークリフト	52	56	35	85	42
	高所作業	5	6	3	14	2
	締固め機械	15	11	6	17	
	玉掛け	33	45	10	41	7
工事担任者試験	総合種					1
	DD1種	2	1	0	4	
	DD3種	7	15	13	7	15
技能士(機械加工/普通旋盤)	2級	0	0	2		
	3級	4	0	5		1
ITパスポート		0	1	4	0	

資格名	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
実用英語能力検定	準2級	1	0	1	0	
	3級	0	3	2	1	2
リスニング英語検定	1級	0	0	0	0	7
	2級	1	8	20	4	37
	3級	10	36	42	12	34
計算技術検定	1級			1		
	2級	2	0	1	0	1
	3級	137	125	61	114	118
日本漢字能力検定	2級	0	0			
	準2級	3	2	1	0	1
	3級	35	17	5	12	15
	4級	19	33	11	58	18
	5級	15	4	0	4	
情報技術検定	1級	3	0			
	2級	8	11	6	4	11
	3級	37	22	26	57	32
実用数学技能検定	準2級	0	3	0	0	
	3級	0	7	2	0	
基礎製図検定		35	28	44	15	5
機械製図検定		35	33	26	32	25
測量技術検定	1級	34	30	24	35	32
	2級	29	41	45	33	37
パソコン利用技術検定	1級	0	0	2	0	
	2級	0	1	1	4	1
	3級	94	102	61	57	63
合 計		901	867	655	784	641
生 徒 数		425	420	401	380	354
一人あたりの平均年間取得数		2.12	2.06	1.63	2.06	1.81



心と込めてかたちづくり
総合建設業・一級建築士事務所

菅野建設工業株式会社

代表取締役 菅野泰助

本社／福島県本宮市長屋字征矢田6 TEL 0243-44-2120
支店／福島・郡山・二本松・田村・川俣 FAX 0243-44-4102

男子少年共通円盤投	朝倉 丈 (3)	決 勝	22m32
男子少年B3000m	長島 晴哉 (1)	決 勝	10分47秒34
男子少年B砲丸投	高橋 恭哉 (1)	決 勝	7 m88
女子100m	渡邊 優花 (2)	予 選	13秒96
女子200m	渡邊 優花 (2)	予 選	29秒34
女子400m	坂爪 夏葉 (2)	予 選	1分09秒40
女子800m	坂爪 夏葉 (2)	予 選	2分47秒50
女子1500m	武藤和奈恵 (3)	決 勝	5分26秒41
女子少年A3000m	武藤和奈恵 (3)	決 勝	11分58秒20 県大会出場
○第71回福島県総合体育大会及び第73回福島県陸上競技選手権大会			
女子少年A3000m	武藤和奈恵 (3)	決 勝	11分56秒20
○第58回福島県高等学校新人陸上競技大会県北地区予選			
男子100m	渡邊 悠佑 (2)	予 選	13秒16
	佐藤 兼 (1)	予 選	11秒96
	佐藤 兼 (1)	予 選	11秒92
男子200m	佐藤 兼 (1)	予 選	25秒09
男子1500m	遠藤 隆平 (2)	予 選	4分57秒66
男子5000m	遠藤 隆平 (2)	決 勝	19分01秒56
男子3000mSC	長島 晴哉 (1)	決 勝	11分54秒55
男子砲丸投	高橋 恭哉 (1)	決 勝	7 m58
男子やり投	渡邊 悠佑 (2)	決 勝	39m56 県大会出場
女子100m	渡邊 優花 (2)	予 選	14秒76
女子200m	渡邊 優花 (2)	予 選	31秒09
女子400m	坂爪 夏葉 (2)	予 選	1分11秒47
女子800m	坂爪 夏葉 (2)	予 選	2分51秒26
○第58回福島県高等学校新人陸上競技大会			
男子やり投	渡邊 悠佑 (2)	決 勝	記録なし
◆柔道部			
○令和元年度 第65回 福島県高等学校体育大会柔道競技 県北予選大会			
男子団体戦	第3位		
66キロ級	第6位	3128沼崎 利音	
73キロ級	第2位	2311小山 康太	
81キロ級	第4位	2312小山 勝太	
90キロ級	第3位	2301安部 恵太	
○令和元年度 第65回 福島県高等学校体育大会柔道競技			
男子学校対抗の部	ベスト16		
81キロ級	ベスト16	2312小山 勝太	
66キロ級	出場	3128沼崎 利音	
73キロ級	出場	2311小山 康太	
90キロ級	出場	2301安部 恵太	
○令和元年度 第72回 福島県総合体育大会柔道競技 県北地区予選大会			
決勝の部	第1位	3128沼崎 利音	
決勝の部	第2位	2311小山 康太	
中堅の部	第4位	2301安部 恵太	
中堅の部	第5位	2312小山 勝太	
○令和元年度 第72回 福島県総合体育大会柔道競技			
決勝の部	ベスト16	3128沼崎 利音	
中堅の部	出場	2301安部 恵太	
○令和元年度 第59回 福島県高等学校新人体育大会柔道競技 県北予選大会			
男子団体戦	第2位		
66キロ級	第1位	2311小山 康太	
73キロ級	第3位	2312小山 勝太	
73キロ級	第5位	1320高橋 魂	
81キロ級	第1位	2304安部 勇斗	
90キロ級	第2位	2301安部 恵太	
○令和元年度 第59回 福島県高等学校新人体育大会柔道競技 県北予選大会			
男子団体戦	ベスト8		
66キロ級	ベスト16	2311小山 康太	
73キロ級	出場	2312小山 勝太	
73キロ級	出場	1320高橋 魂	
81キロ級	第3位	2304安部 勇斗	
90キロ級	ベスト16	2301安部 恵太	
○第42回 内閣府大臣杯争奪全国高等学校柔道選手権大会 福島県大会			
81キロ級	第3位	2304安部 勇斗	
◆剣道部			
○第65回福島県高等学校体育大会県北地区大会			
男子個人戦出場			
3-2	渡邊 心 (2回戦敗退)		
1-3	村田 莉玖 (2回戦敗退)		
○第72回福島県総合体育大会県北地区大会			
男子個人戦出場			
3-2	渡邊 心 (2回戦敗退)		
1-3	村田 莉玖 (1回戦敗退)		
○令和元年度福島県高等学校新人体育大会県北地区大会			
男子個人戦出場			
1-3	村田 莉玖 (2回戦敗退)		
◆弓道部			
○令和元年度第65回福島県高等学校体育大会弓道競技県北地区予選大会			
男子団体	予選敗退		
女子団体	予選敗退		
男子個人8名	予選敗退		
女子個人1名	予選敗退		
○第65回福島県高等学校体育大会弓道競技			
男子個人	星 駿太郎 (3131) 本田 未来 (3230) 出場		
女子個人	渡邊 真菜 (3237) 安斎 希美 (2203) 出場		
○令和元年度福島県総合体育大会弓道競技 (少年の部) 県北地区予選大会			
男子個人6名	予選敗退		
女子個人3名	予選敗退		
○令和元年度福島県弓道新人大会県北地区予選大会			
男子個人6名	予選敗退		
女子個人	松本 優佳 (2232) 7位 (県大会出場)		
男子団体	2名 予選敗退		
女子団体	予選敗退		
○令和元年度福島県弓道新人大会			
男子個人	泉田 海翔 (2105) 出場		
女子個人	松本 優佳 (2232) 安斎 希美 (2203) 出場		
◆カヌー部			
○第72回福島県総合体育大会カヌー競技			
少年男子K-1	2位	小山田香貴	
	4位	野地 寿	
少年男子C-1	1位	伊藤 佑悟	
	2位	佐々木大地	
少年女子K-1	3位	三木 芹	
少年男子K-2	2位	小山田・野地	
○令和元年度第46回東北総合体育大会 カヌー競技			
K-1	1位	小山田香貴	
C-1	1位	伊藤 佑悟	
○第22回東北高等学校カヌースプリント選手権大会			
K-1	4位	小山田香貴	

準決勝敗退 野地 寿	2位	伊藤 佑悟
C-1		
予選敗退 佐々木 大地		
WK-1	予選敗退	三木 芹
K-2	準決勝敗退	小山田・野地
○令和元年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技		
C-1	500m	6位 伊藤 佑悟
○令和元年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会		
K-1	500m	4位 小山田香貴
K-1	200m	3位 小山田香貴
K-4	500m	1位 小山田・野地・小久保・青木
K-4	200m	3位 小山田・野地・小久保・青木
○第27回福島県高等学校新人カヌー選手権大会		
K-1	2位	小山田香貴
K-1	3位	野地 寿
C-1	1位	水木 智也
WK-1	2位	三木 芹
K-2	1位	小山田・野地
○2019年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会		
K-2	1000m	4位 小山田・武藤 (ムネカタ)
K-2	500m	9位 小山田・野地
K-4	500m	4位 小山田・野地・青木 (安達高)
		・小久保 (安達高)
○第15回日本カヌースプリントジュニア小松大会		
K-2	1000m	1位 小山田・青木 (安達高)
K-1	500m	1位 小山田香貴
○第74回国民体育大会		
少年男子K-1	500m	3位 小山田香貴
少年男子K-1	200m	2位 小山田香貴
少年男子C-1	500m	8位 伊藤 佑悟
少年男子C-1	200m	6位 伊藤 佑悟
○第27回福島県高等学校新人カヌー選手権大会		
K-1	2位	小山田香貴
C-1	1位	水木 智也
K-2	1位	小山田・野地
WK-1	2位	三木 芹
○第10回東北高等学校新人カヌースプリント選手権大会		
K-1	2位	小山田香貴
K-2	4位	小山田・野地
◆バドミントン部		
○令和元年度福島県高等学校体育大会バドミントン競技県北地区予選		
男子学校対抗戦第2位		
1回戦	3対0	本宮
2回戦	3対1	福島東
準決勝	3対0	福島商業
決勝	1対3	福島工業
男子ダブルス第3位		三浦綾斗・武藤大誠
男子ダブルスベスト8		熊谷 楓・柏木裕太
男子シングルス第1位		武藤大誠
男子シングルスベスト16		三浦綾斗
○令和元年度福島県高等学校体育大会バドミントン競技		
男子学校対抗戦ベスト8		
1回戦	3対2	小高産業技術
2回戦	3対0	会津
準々決勝	0対3	福島工業
男子ダブルスベスト16		三浦綾斗・武藤大誠
男子ダブルス出場		熊谷 楓・柏木裕太
男子シングルス出場		武藤大誠・三浦綾斗
○第72回福島県総合体育大会 バドミントン競技県北地区予選大会 (少年の部)		
男子ダブルス第3位		三浦綾斗・武藤大誠
男子ダブルスベスト8		熊谷 楓・柏木裕太
男子シングルス第1位		武藤大誠
男子シングルスベスト8		三浦綾斗
男子シングルスベスト16		安田京平
男子シングルス県大会出場		加藤涼雅
○第72回福島県総合体育大会バドミントン競技 (少年の部)		
男子ダブルス出場		三浦綾斗・武藤大誠・熊谷 楓・柏木裕太
男子シングルス出場		武藤大誠・三浦綾斗・加藤涼雅・安田京平
○令和元年度福島県高等学校新人体育大会バドミントン競技県北地区予選		
男子学校対抗戦		
(第5位 県大会出場)		
1回戦	3対2	福島明成
2回戦	2対3	福島成蹊
代決2回戦3対2		福島北
代決3回戦3対2		本宮
女子学校対抗戦		
1回戦	3対1	聖光学院
2回戦	0対3	福島南
代決2回戦0対3		福島明成
男子シングルスベスト16		
安田京平		
○令和元年度福島県高等学校新人体育大会バドミントン競技		
男子学校対抗戦	1回戦	0対3 相馬
男子シングルス出場		安田京平
○令和元年度福島県総合バドミントン選手権		
男子ダブルス第3位		武藤大誠・三浦綾斗

信頼ある製品と最高の品質を目指して

テクノメタル株式会社
TECHNO-METAL CO., LTD.

〒964-8585 福島県二本松市高田100番地
TEL(0243)23-8100 FAX(0243)23-8126

URL <http://www.t-metal.jp>

平成31年(令和元年)度 各種大会成績

◆コンピュータ部

- 第40回 全国高校生プログラミングコンテスト 一次予選
2チーム中1チーム14位
一次通過
○第40回 全国高校生プログラミングコンテスト 二次予選
16位 二次敗退

◆野球部

- 第71回春季東北地区高校野球福島県大会県北支部予選
1回戦 対福島西 4対3で勝利
2回戦 部対福島東 1対4で敗北
敗者復活2回戦 対福島成蹊 5対8で敗退
○第101回全国高等学校野球選手権大会福島県大会
2回戦 対聖光学院 1対11で敗退
○第71回秋季東北地区高校野球福島県大会県北支部予選
1回戦 対福島 6対4で勝利
2回戦 対福島東 0対10で敗北
敗者復活2回戦 対福島明成 11対1で勝利
敗者復活3回戦 対福島工業 0対5で敗退

◆バスケットボール部

- 令和元年度福島県高等学校総合体育大会バスケットボール競技県北地区予選
一回戦 対 福島北 97-47 ○
二回戦 対 福島 50-112 ○
県大会出場決定トーナメント 対 福島明成 55-99 ●
○第72回福島県総合体育大会バスケットボール競技県北地区予選
一回戦 対 福島東 56-103 ●
○令和元年度福島県選抜高等学校バスケットボール選手権大会県北予選
一回戦 対 福島東 45-113 ●
県大会出場決定トーナメント
対 安達東・梁川 106-59 ○
対 橋 37-79 ●
対 安達 45-99 ●
○令和元年度福島県高等学校新人体育大会バスケットボール競技県北予選
一回戦 対 福島東 47-100 ●
県大会出場決定トーナメント
対 本宮 58-66 ●

◆卓球部

- 福島県高校体育大会卓球競技県北大会一次予選
Bリーグ
2勝3敗
Bリーグ4位
○福島県高校体育大会卓球競技県北大会二次予選
学校対抗トーナメント 2回戦 松工 0-3 福商
男子シングルス 菅野凱斗(3-3) 26位
○福島県高等学校体育大会卓球競技
男子シングルス 3-3 菅野凱斗 2回戦敗退
○福島県総合体育大会卓球競技県北大会一次予選
Bリーグ1勝4敗 Bリーグ5位
○令和元年度福島県総合体育大会卓球競技県北大会二次予選
学校対抗 2回戦敗退 松工1-3 安達
少年男子個人 根本泰地(1-2) 県大会の出場
○令和元年度福島県総合体育大会卓球競技
少年男子個人 根本泰地(1-2) 3回戦敗退
○全日本卓球選手権大会県北地区予選(ジュニアシングルス)
男子ジュニアシングルス
遠藤隆成(2-1) 位で県大会出場
高橋瑞樹(1-1)
○全日本卓球選手権大会福島予選会(ジュニアシングルス)
男子ジュニアシングルス
遠藤隆成(2-1) 3回戦敗退
高橋瑞樹(1-1) 1回戦敗退
○福島県高等学校新人体育大会卓球競技県北大会一次予選
Bリーグ 3勝2敗 Bリーグ3位
○福島県高等学校新人体育大会卓球競技県北大会二次予選
男子学校対抗 2回戦 松工 1-3 福商
男子シングルス 遠藤隆成(2-1) 高橋瑞樹(1-1)
県大会出場
男子ダブルス 高橋瑞樹・遠藤賢騎(1-1)
県大会出場
○福島県高等学校新人体育大会卓球競技
男子ダブルス 高橋瑞樹・遠藤賢騎(1-1)
3回戦敗退
男子シングルス 遠藤隆成(2-1) 2回戦敗退
高橋瑞樹(1-1) 2回戦敗退

◆ソフトテニス部

- 第65回福島県高等学校体育大会素志津尾テニス競技県北地区予選会
男子個人戦
3回戦敗退 高橋・菅野(松工) 1-4 佐々木・山岸(福西)
3回戦敗退 星・遠藤(松工) 0-4 吉田・渡邊(安達)
2回戦敗退 渡邊・鶴島(松工) 1-4 渡邊・遠藤(安達)

- 2回戦敗退 鈴木・片平(松工) 1-4 高橋・高橋(福工)
2回戦敗退 安齋・山本(松工) 2-4 佐藤・佐々木(東陵)
2回戦敗退 本田・高橋(松工) 1-4 弓田・齋藤(福工)
2回戦敗退 大内・鈴木(松工) 0-4 神山・三瓶(本宮)
2回戦敗退 佐藤・山口(松工) 1-4 太田・亀岡(福工)
1回戦敗退 石川・酒井(松工) 1-4 高橋・三川(明成)
1回戦敗退 齋藤・山田(松工) 1-4 阿部・佐々木(福島)
代表決定戦 高橋・菅野(松工) 3-4 柴崎・大野(安東)
代表決定戦 星・遠藤(松工) 0-4 安齋・茂手(福西)

男子団体戦

予選Bリーグ

- 松工1-2福島 松工1-2福西 松工1-2保原
松工2-1東陵 松工2-1安東・川俣 ⇒5位
7-11位リーグ

- 第72回福島県総合体育大会ソフトテニス競技(少年の部)県北地区予選会

男子個人戦

- 2回戦敗退
本田・高橋(松工) 0-4 鈴木・安齋(福工)
佐藤・山口(松工) 1-4 磯部・齋藤(福工)

1回戦敗退

- 渡邊・安齋(松工) 1-4 高橋・高橋(本宮)
齋藤・山田(松工) 2-4 小澤・橋本(本宮)
酒井・山本(松工) 1-4 佐藤・齋藤(梁川)

- 高橋・菅野(松工) 3-4 橋内・熊坂(福工)

○第72回県北地区団体選手権大会

男子団体戦

- 1回戦 松工3-0本宮 2回戦 松工1-2福工
7-8位決定戦 松工2-1東陵 ⇒7位

- 第57回福島県高等学校新人体育大会ソフトテニス競技県北地区予選会

男子個人戦

3回戦敗退(ベスト16)

- 佐藤・佐藤(松工) 0-4 富田・穂積(福島)
2回戦敗退 渡邊・高橋(松工) 0-4 高橋・高橋(明成)

- 1回戦敗退 武田・渡辺(松工) 0-4 羽田・亀岡(福工)

- 1回戦敗退 齋藤・山田(松工) 2-4 小島・渡邊(福工)

- 1回戦敗退 高橋・菅野(松工) 2-4 齋藤・大橋(保原)

- 1回戦敗退 本田・安齋(松工) 2-4 本田・野地(福西)

- 1回戦敗退 酒井・山本(松工) 1-4 菅野・武田(本宮)

- 1回戦敗退 佐藤・山口(松工) 1-4 今村・高橋(福工)

- 代表決定戦 渡邊・高橋(松工) 4-3 伊藤・上田(福西)

- 渡邊・高橋(松工) 1-4 菅野・横山(福工)

男子団体戦

予選Bリーグ

- 松工2-1本宮 松工3-0混成 松工2-1明成
松工0-3福工 ⇒2位
1-4位決定戦 松工0-3福島 松工1-2保原
⇒4位

- 令和元年度福島県高等学校新人体育大会ソフトテニス競技

男子団体戦

- 1回戦敗退 松工0-3郡山東

男子個人戦

- 1回戦敗退 佐藤・佐藤(松工) 0-4 橋川・矢作(郡山東)

◆サッカー部

- 第65回福島県高校体育大会サッカー競技県北地区大会
1回戦 × 2-2 延長PK 1-2 橋高高校
敗者復活1回戦 × 0-0 延長PK 3-4 福島西高校
○第97回全国高等学校サッカー選手権大会福島県大会
1次大会 1回戦 ○ 1-0 日大東北
2回戦 ○ 3-0 福島商業
2次大会 3回戦 × 1-2 小高産業技術
○平成30年度福島県高等学校新人体育大会サッカー競技県北地区大会
1回戦 ○ 3-0 福島成蹊
2回戦 × 0-3 聖光学院
敗者復活2回戦 ○ 0-0 PK 4-2 明成
敗者復活3回戦 × 0-0 PK 3-4 福島南
○高円宮杯 JFA U-18サッカーリーグ2018福島(Fリーグ)
(F3県北) 12勝2分 勝点38 得点43失点0
1位/15チーム中
F2参入戦進出
(F2参入戦) ○ 4-1 清陵情報(F3県南1位)
× 0-0 PK 1-3 安積(F3県南2位)
○ 1-0 安積黎明(F3県南3位)
県2部リーグ(F2)に昇格

◆陸上競技部

- 第64回福島県高等学校体育大会陸上競技県北地区予選会

- 男子100m 渡邊 悠佑(2) 予選 13秒25

- 佐藤 兼平(1) 予選 12秒52

- 男子200m 鈴木 電平(3) 予選 25秒74

- 佐藤 兼平(1) 予選 25秒76

- 男子1500m 渡邊 陵平(2) 予選 4分48秒10

- 高橋 恭哉(1) 予選 5分54秒84

- 男子1年3000m 長島 晴哉(1) 予選 11分25秒10

- 男子走幅跳 鈴木 電平(3) 決勝 5m31

- 男子砲丸投 朝倉 丈(3) 決勝 9m29

- 男子やり投 渡邊 悠佑(2) 決勝 32m50

- 朝倉 丈(3) 決勝 22m93

- 女子100m 渡邊 優花(2) 予選 14秒61

- 坂爪 夏葉(2) 予選 30秒30

- 渡邊 優花(2) 予選 30秒21

- 女子400m 坂爪 夏葉(2) 予選 1分12秒17

- 第2決勝 1分15秒46

- 女子1500m 武藤和奈恵(3) 決勝 5分30秒29

- 県大会出場 武藤和奈恵(3) 決勝 11分49秒25

- 第64回福島県高等学校体育大会陸上競技

- 女子1500m 武藤和奈恵(3) 予選 5分36秒93

- 女子3000m 武藤和奈恵(3) 決勝 11分54秒35

- 第71回福島県総合体育大会予選会及び第73回福島県陸上競技選手権大会県北地区予選会

- 男子100m 大槻 純也(3) 予選 12秒45

- 渡邊 悠佑(2) 予選 13秒18

- 男子200m 大槻 純也(3) 予選 25秒52

- 男子800m 渡邊 陵平(2) 予選 2分21秒15

- 男子1500m 渡邊 陵平(2) 予選 4分46秒00

- 男子砲丸投(7.26kg) 朝倉 丈(3) 決勝 7m66

- 男子やり投 渡邊 悠佑(2) 決勝 34m58

暮らしと環境づくりの総合プロデュース

総合建設業

ISO 9001
ISO 14001

認証取得



株式会社 野地組

代表取締役 野地 武之

本社 福島県二本松市油井字赤坂山27 〒969-1404
TEL 0243-23-0131 FAX 0243-23-1296

令和元年度 進路内定状況

(令和2年1月20日現在)

学科・クラス	生徒数	就 職				進 学			未定
		県内	県外	公務員	縁故 自営	大学	短大	専門 学校	
機械システム科1組	40(0)	31(0)	2(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0	6(0)	0
情報システム科2組	40(10)	23(8)	8(0)	1(0)	1(1)	2(0)	0	5(1)	0
都市システム科3組	39(0)	20(0)	7(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0	9(0)	0
合 計	119(10)	74(8)	17(0)	2(0)	2(1)	4(0)	0	20(1)	0
* () は女子の内数	計	95(9)				24(1)			0
	進路決定率	79.8%				20.2%			0%

就職 県内	
有限会社吾妻プレス工業	前沢給装工業株式会社福島工場
株式会社アマダオートメーションシステムズ	ヤマト運輸株式会社福島主管支店
NOKエラストマー株式会社東北事業所	株式会社デンソー福島
株式会社エイクラ通信福島工場	ニプロファーマ株式会社鏡石工場
沖マイクロ技研株式会社	株式会社エイチワン郡山製作所
株式会社協栄製作所	株式会社小松製作所生産本部郡山工場
三光化成株式会社福島工場	株式会社サトー商会
株式会社菅澤建設	住化アグロ製造株式会社
株式会社山口型範二本松工場	東レプラスチック精工株式会社郡山工場
二本松シール工業株式会社	東北電化工業株式会社
株式会社野地組	株式会社東北村田製作所郡山事業所
柏洋硝子株式会社	東テック株式会社郡山営業所
株式会社ハネダユニテック福島工場	株式会社ナルコ郡山
福島サンケン株式会社	日東紡績株式会社富久山事業センター
北光金属株式会社岩代工場	富士ダイス株式会社郡山製造所
マレリ福島株式会社	福島軌道工業株式会社
有限会社丸中建設	株式会社星機械設計
有限会社武藤測量事務所	三立土建株式会社
ヤマニ建設株式会社	いすゞ自動車東北株式会社
斎藤建設工業株式会社	大槻電設工業株式会社
モルデック株式会社	株式会社小野工業所
アサヒビール株式会社福島工場	ノオコー建設株式会社
有限会社飯田製作所福島第二工場	北芝電機株式会社
石橋建設工業株式会社	株式会社光和設備工業所
株式会社イワキ	日東紡績株式会社福島工場
ウエルシア福島本宮店	NITTOKU株式会社
菅野建設工業株式会社	福島キヤノン株式会社
川名建設工業株式会社	福島交通株式会社
福島グラビア株式会社	株式会社ヤクルト本社福島工場
株式会社福島芝浦電子	フタバコンサルタント株式会社
福島プラスチック株式会社	

就職 県外	
大崎建設株式会社	株式会社加藤建設
株式会社成城石井	コスモシステム株式会社
株式会社田中建設工業	太平電気株式会社
東急電鉄株式会社	仙建工業株式会社
株式会社日本デジタル研究所	トヨタ自動車東日本株式会社
東日本電気エンジニアリング株式会社	東北電力株式会社
株式会社ファインズ東京	日本貨物鉄道株式会社東北支社
株式会社チバコー	

公務員 県外	
福島県職員電気職	福島市職員土木職

大 学	
日本大学工学部機械工学科	日本大学工学部電気電子工学科
日本大学工学部情報工学科	日本大学工学部土木工学科

専門学校	
総合学園ヒューマンアカデミー新宿校声優専攻科	郡山ヘアーメークカレッジ美容科
中央工学校工業専門課程測量科	日本調理技術専門学校専門課程調理師本科
中央工学校工業専門課程土木建設科	福島医療専門学校柔整科
日本工学院専門学校コンサート・イベント科	福島県立テクノアカデミー浜自動車整備科
日本工学院専門学校八王子芸術専門課程放送芸術科	福島県立テクノアカデミー会津自動車整備科
プロ・フィット声優養成所	赤門鍼灸柔整専門学校柔整復科
山野美容専門学校専門課程	仙台ウェディング&ブライダル専門学校ブライダルヘアメイク&ドレス科
国際情報工科自動車大学校車体工学科	仙台工科専門学校環境土木工学科
国際情報工科自動車建築CAD設計科	山形工科短期大学校住居環境科
ケイセンビジネス公務員カレッジ行政事務学科	

測量全般／土木設計／地質土質調査



TOHSYOW

株式会社 東昇コンサルタント

代表取締役 鈴木 朝 裕

本 社／〒964-0905二本松市松岡199番地10
 TEL(0243)24-7111 FAX(0243)24-7117
 郡山営業所／〒963-8061郡山市富久山町原字舟橋97-1
 TEL(024)991-6622 FAX(024)933-6677
 東京事業所／〒121-0064東京都足立区保間木1丁目31-17

同窓会 だより

総会報告

令和元年度福島県立二本松工業高等学校同窓会総会が、令和元年7月27日（土）にアーバンホテル二本松にて金田洋一郎校長・佐藤忠司元会長・秋山孝雄前会長のご臨席を賜り開催されました。

挨拶の中で、丹治茂雄会長からは同窓会の団結と卒業生の活躍また安達東高校との統合問題などについて、また、金田洋一郎校長からは赴任の挨拶と学校の様子、同窓会の協力、安達東高校との統合などについて、そして佐秋山孝雄前会長からは



さらなる同窓会の発展について、それぞれご挨拶をいただきました。

議事を進めるにあたって、鈴木朝裕（昭和57年土木科卒）を議長に指名し、終始和やかに進みました。第1号議案平成30年度事業報告、第2号議案平成30年度決算報告並びに会計監査報告、第3号議案令和元年度事業計画、第4号議案令和元年度予算、事業積立金予算はすべてスムーズに可決されました。その他のところで、会報委員会より同窓会報の在り方についてお話があり、今後の検討事項とすることを確認しました。総会後の懇親会には29名の参加をいただき、会員の近況報告などで盛り上がり親睦を深め、有意義な時間を過ごすことができました。会員のさらなる結束を誓い、そして来年度は多数の参加者を期待し、盛大なうちに終わることができました。

東京オリンピック聖火リレーの思い出

同窓会顧問（機械科一期生） 秋山 孝雄

四年に一度のオリンピックが昭和三十九年十月に日本で初めて「東京オリンピック」として開催されるとあって、大いに盛り上がったことを今でも鮮明に覚えております。

「聖火リレー走者選出基準」は次のとおりでした。

走者は十才（十才）までのもので生徒、学生、青年、その他この年齢に該当する心身ともに健康であるもの、但しスポーツ少年団に限り優先し、随走者に限り中学生の参加もできる。

・二千メートルを十分以内で走破できるものは、

走者は、正走者 一名

副走者 二名

随走者 二〇名

合計 二三名

昭和三十八年、松工では第一回校内マラソン大会が開催され、安達高校庭スタート・ゴール、旧安達町の二本柳折り返し十キロコースで行われ、私が優勝したことにより選考されたものと思っております。

九月二十九日、聖火が宮城県から福島県にバトンタッチされ、二十九日は、福島県庁から郡山市の開成山陸上競技場まででした。日の丸をつけたランニングを胸にいよいよ聖火リレーが始まる時がきたと胸がわくわくしたものです。

リレーした区間は、安達ヶ原入口の立美レストラン前から亀谷二丁目、福島交通御免町バス停留所前までの約一五〇〇メートルの区間をトーチを高々と掲げながらスローペースでリレーしました。

四号国道の両側には、聖火リレーを見学・応援する市民の皆さんが大勢詰めかけてきておりあたたいかいご声援をいただきました。

いよいよ十月十日の本番の各種目一流アスリートの活躍を期待できることを楽しみに

しておりました。

聖火リレーをとおしてオリンピックに参加できたことは私にとつて一生の思い出となりました。

今年のオリンピックの聖火リレーにも応募したかったのですが本市は通過しないことがわかり誠に残念でなりません。今回もテレビの前からオリンピックに出場する選手の皆さんにあたたかいエールを送りたいと思います。





電気を元気にする会社

北芝電機株式会社

<https://www.kitashiba.co.jp>



北芝松工会 同窓生一同

本社・工場 福島市松川町字天王原9番地

■ 平成31・令和元年度同窓会役員 ■

役 職	氏 名	卒業 年度	科
会 長	丹 治 茂 雄	S40	機械
副 会 長	大 内 正 人	S44	電気
◇	菊 地 清 義	S44	電気
◇	小 形 義 元	S48	土木
◇	熊 谷 勝 則	S49	土木
◇	高 橋 薫	S49	機械
◇	山 川 博 徳	S55	土木
会 計	星 光	S42	機械
監 事	安 斎 邦 衛	S54	機械
◇	鈴 木 新 栄	S57	機械
◇	小 沢 源 太 郎	S60	土木
事務局次長	高 橋 周 平	H5	電子
理 事	齋 藤 喜 市	S41	土木
◇	杉 内 洋 介	S43	機械
◇	菅 野 和 夫	S44	機械
◇	尾 形 巳 芳	S47	電気
◇	本 田 正	S47	土木

役 職	氏 名	卒業 年度	科
理 事	鳴 原 彰	S49	機械
◇	橋 本 正 一	S51	土木
◇	高 橋 道 夫	S53	機械
◇	茂 木 安 久	S55	機械
◇	鈴 木 朝 裕	S57	土木
◇	加 藤 高 洋	S59	土木
◇	金 子 智 弘	S60	土木
◇	石 川 正 功	S60	電気
◇	斎 藤 龍 一	H5	電子
◇	佐 藤 幸 好	H9	土木
◇	菅 野 雅 利	H9	土木
◇	石 川 清 徳	H10	土木
◇	二階堂 卓 也	H12	機械
◇	菅 野 健 太	H12	機械
◇	安 齋 秀 輝	H12	土木
◇	鳴 原 望 美	H15	デザイン

会報委員会

会報委員長	大 内 正 人
副委員長	熊 谷 勝 則
委 員	高 橋 薫
委 員	高 橋 道 夫
委 員	鈴 木 朝 裕
委 員	菅 野 健 太
委 員	石 川 清 徳
委 員	中丸 淳 (事務局)
委 員	佐々木英雄 (事務局)

役員選考委員会

選考委員長	菊 地 清 義
副委員長	山 川 博 徳
委 員	小 形 義 元
委 員	齋 藤 喜 市
委 員	高 橋 周 平
委 員	鈴木正美 (事務局)
委 員	山口真二 (事務局)

事務局

事務局長	鈴 木 正 美
事務局次長	山 口 真 二
事 務 局	佐々木 英 雄
事 務 局	芳 賀 一 夫
事 務 局	中 丸 淳

■ 平成30年度 同窓会収支決算書 ■

収入額合計	1,317,294円
支出額合計	979,244円
繰越金	338,050円

収 入 の 部

科 目	30年度予算額	30年度決算額	増 減 額	備 考
会 費	715,000	715,000	0	143人×5,000円
入 会 金	234,000	234,000	0	117名×2,000円
雑 収 入	7	50,001	49,994	預金利息、遺志金
繰 越 金	318,293	318,293	0	
計	1,267,300	1,317,294	49,994	

支 出 の 部

科 目	30年度予算額	30年度決算額	増 減 額	備 考
会 議 費	180,000	155,370	△ 24,630	役員会、同窓会総会
行 事 費	21,000	23,100	2,100	入会式
通 信 費	35,000	39,003	4,003	総会案内ハガキ等
会 報 費	150,000	144,072	△ 5,928	会報発行 (3,000部)
慶 弔 費	10,000	5,000	△ 5,000	香典
記 念 品 費	130,000	130,708	708	卒業記念品 (ホルダー)
後 援 費	200,000	48,524	△ 151,476	激励金、野球・サッカー広告料
事 業 費	400,000	356,755	△ 43,245	会報発送等 (559部) 応援歌楽譜複製、額装仕上
事業積立金	0	0	0	
事 務 費	80,000	76,712	△ 3,288	会員データ入力費・事務用品
入会金返金	0	0	0	退会0名×2,000円
予 備 費	61,300	0	△ 61,300	
計	1,267,300	979,244	288,056	

「やらまいか」



本田技研工業
株式会社
遠藤 喜美

「GO! STOP! CALL!」寒空の下グラウンドに響き渡る審判員の声、今年も審判講習会から一年がスタートした。息子が少年野球から卒業して早いもので20年、今でも少年少女達と共に野球に取り組んでいる自分不思議でもある。何故、子供達の成長に一翼を担い、逆に無心でボールを追う姿に刺激を貰うこの掛替の糧の一つとなっているからだろう。

表題の「やらまいか」は、遠州（浜松）地方の方言で、「あれこれ考え悩むより、まず行動しよう」という進取の精神を表すものと言われています。私の勤める自動車会社の創業者もこの地方出身で、この言葉をよく使い社内浸透しています。

自動車は約三万点の部品からなり多くの人の協力から完成されます。私はその中で樹脂部品の金型設計製作から製品の製造・品質向上に関わってきました。機械のオペレーター、マネージメント、設備導入、海外工場支援業務を経て、現在は育成責任者として人材教育を担当しています。この教育の一環に必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度の合格に向けてのサポートも含まれています。このサポートは会社の枠に囚われず埼玉県内希望者全員対象で実施しています。「学科」と「実技」があり年一回のみ行われ、一級・二級の合格率は50%を下

回る難関です。その上、日々機械は最新鋭化されることもあり学ぶ事は増すばかり、この様な背景から検定チャレンジャー（技能の継承者）は減り「昨今の伝承技能の散逸により日本の「モノづくり」は危機的状況にあります。この様な状況の中、私には思うことがあります。その一つが受講する若者から、教育係の私が逆に教えられる事が多々あるという事です。先輩のやり方には理由があり、それは身に付ける事も必要でしょう、しかし、これからの時代は従来のやり方だけではダメでは、という思いです。今世界は日々変化し新しいやり方を必要としています。君の、若者の個性がそれを実現させるのだと、反対も抵抗もあるでしょう、笑われもするでしょう、それでも世界は新しい力を求めています。その個性が活かされ、先輩と後輩が共創し切磋琢磨して行けば、新しいやり方・新しい豊かさに繋がります。この国、世界は、豊かと輝き未来は開けます。

今後は、微力ながらも少年少女の野球を通じて育成と技能検定試験のサポートによる「日本の「モノづくり」の伝承と活性化に向け後進の育成と自己研鑽に努めます。」
最後には自分には自戒の意味で、後輩には送る言葉として「やってみませんか？不可能と言うな」「やるまいか」

プロフィール

- ◇昭和五十七年度（十九期生）電気科卒業
- ◇昭和五十八年 本田技研工業株式会社入社

「未来へのアウトプット」



前澤給装工業株式会社
遠藤 衛

私は、高校卒業後、社会人となりもう二回目の成人式を迎える年になりました。時の流れは本当に早いものです。二本松工業在学時とは言うのと部活動が中心の学校生活でした。私はサッカー部に所属していました。決して強豪校と呼べるほどではありませんでしたが、毎日友人達と遅くまで硬いグラウンドで練習を頑張っていた事を思い出します。

学問では、機械科で専門基礎知識を学習していました。現在は同僚、後輩に指導する側になり、当時学んだ知識が生かされていると感じています。

入社三年目には私にとってとても大きな経験がありました。仕事の経験が浅い私に海外工場新規立ち上げプロジェクトに参加することになり耳を疑いました。海外で仕事ができるなど思ってもみませんでした。不安も当然ながらありましたが、プロジェクトに参加し、任された事へのうれしさが大きかったです。ですが語学や知識を準備していなかったもので、身振り、手ぶり、ジェスチャーで海外の作業者に物を伝えることに苦労したことを思い出します。

皆さんには、準備できる時間がありません。今年は東京でオリンピックがあり、海外の方が多く来日するの幅が広がるとモチベーションも上がり見える景色も違って何に対しても積極的になれると思います。在学中に目標を立てて、学びの幅を広げてください。日本の企業もたくさんありますが、日本人は外から入ってくる物や言葉で対処することが苦手です。自分の思いをうまく伝える力は海外だけではなく、日本でも必要なことです。

現在どの業界でも多様に変化して時代、社会人として在学中の皆さんに対するエールになればと思います。又、何らかの形で皆さんにお会いできる機会があれば是非声をかけてくださると嬉しいです。今しかない高校での生活を日々大切に楽しんでください。

プロフィール

- ◇平成十一年度 機械科卒業
- ◇部活 サッカー部（キャプテン）
- ◇出身地 本宮市
- ◇趣味 子供たちの野球観戦
ワカサギ釣り



カヌー部

2020年カヌーオセアニア
選手権大会



カヌー部

全国高等学校総合体育大会カヌー競技
東北高等学校カヌースプリント選手権大会



カヌー部

東北高等学校新人カヌースプリント選手権大会
国民体育大会カヌー競技スプリント

競技写真



ものづくりコンテスト（機械）



ものづくりコンテスト（情報）



課題研究調査班（都市）

編集後記

いつものようにYouTubeから「人生の扉」を流す。書きものをするときのルーティンの一つだ。

1964東京オリンピックから2年後、安達管内の中学生を対象として、福島県の英雄・マラソン競技メダリストの田谷幸吉選手を讃える「田谷駅伝大会」が開催された。

伴走をかって出た私は声を張り上げ自転車走を走らせた。丘下から駅前、本町銀座の沿道は応援の人々、人の波が続いた。御免町のあたりか、後方から猛然と迫る選手に気付いた、が、あつという間に抜かれ、走り去ってしまった。疾風の如く！田谷幸吉選手だった。

半世紀を経て2020東京オリンピックがやってくる。一万人を超えるアスリートの祭典だ。私は「オリンピック精神」を読み直し、精いっぱい応援したいと思う。できるだけ「国」を意識しないで、選手個人を応援したいと思う。そしてメダルに固執しない応援をしたいと思う。

田谷幸吉を忘れてはならないからだ。三島由紀夫の「田谷「尉」の自刃」に賛意はないが、当時の世相を知るためには有効かもしれない。

会報委員長 大内正人
副委員長 熊谷勝則
委員 高橋 薫、高橋道夫
鈴木朝裕、菅野健太
石川清徳
事務局 中丸 淳、佐々木英雄